

(一社)日本ガス石油機器工業会(JGKA)

工業会概要

会長：高木裕三

(パーパス株式会社代表取締役社長)

- 設立：1961(S36)年4月3日
- 千代田区神田多町2-11
- 会員数：97社（ガス石油機器及び関連部品の製造及び販売会社並びに賛助会員）
- 目的：ガス・石油機器産業の健全な発展を図り、もって国民生活文化の向上とわが国産業の発展に寄与することを目的とする。



2019年10月28日(月)



1

高齢者・障がい者対応設計委員会 について

設立目的 ガス・石油燃焼機器の「**高齢者・障がい者配慮設計ガイドライン**」を制定し、業界として統一的なルールを決めることによって、配慮設計内容の違いによる使用者の戸惑いを防止し、**配慮設計機器の一層の普及**を図っていくことを目的に設立した。

設立時期 平成21年5月に「**高齢者・障がい者対応設計WG**」を編成し、活動を開始。平成25年2月に「**高齢者・障がい者対応設計委員会**」に名称変更。

- 1) 高齢者・障がい者配慮設計ガイドラインの制定
- 2) JIS S 0015 アクセシブルデザイン
JIS S 0333 高齢者・障害者配慮設計指針
ISO/TC159 人間工学規格

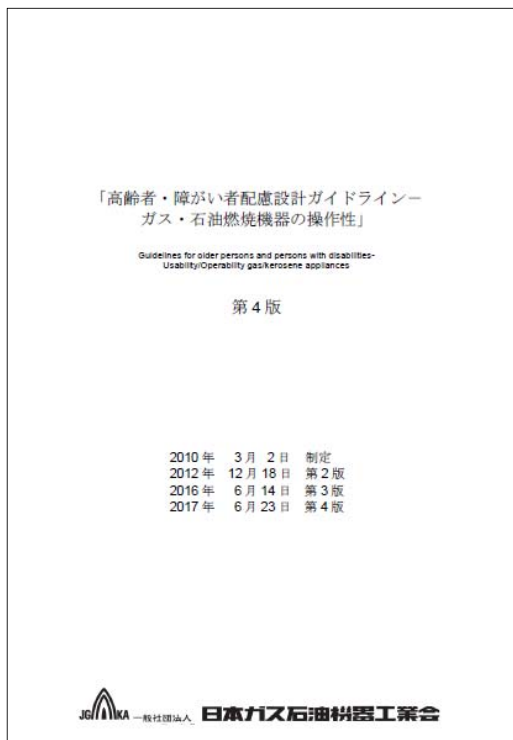
活動内容

- 3) 関連団体との連携
- 4) 研究機関などとの情報交換（交流見学会）
- 5) 国際福祉機器展（H.C.R）2019 出展（2009年より出典継続）

参照
・
準拠

2

高齢者・障がい者配慮設計ガイドライン



ガス・石油燃焼機器は普及率が高く、生活に密着した製品であり、より早く配慮設計に取り組むことで高齢化社会に備えることができるよう、各メーカーの前向きな取り組みが望まれる。

そこで、平成22年3月に高齢者・障がい者に配慮した製品を企画、商品化する場合の参考資料として「高齢者・障がい者配慮設計ガイドラインーガス・石油燃焼機器の操作性」をとりまとめ制定した。

本ガイドラインでは、高齢者・障がい者が安心して安全・確実に操作ができるように、主に操作性について検討を行い、JIS Z 8071「高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作成配慮指針」を基本にして、一般性のある具体策を採用・記載している。

3

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計の例

品目	視認性	操作性	音声ガイド	その他
温水機器 (リモコン)	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさ 色とコントラスト イラストによる表示 	<ul style="list-style-type: none"> ボタンサイズ 操作部の配置 	<ul style="list-style-type: none"> 操作音 お知らせ 	
調理機器 (コンロ)	<ul style="list-style-type: none"> 色とコントラスト 	<ul style="list-style-type: none"> スイッチの配置 操作部傾斜 天面表示、天面操作 	<ul style="list-style-type: none"> お知らせ 	<ul style="list-style-type: none"> 注意ランプ
暖房機器 (ファンヒーター ・FF暖房機)	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさ 色とコントラスト 	<ul style="list-style-type: none"> スイッチを拡大 	<ul style="list-style-type: none"> お知らせ 	<ul style="list-style-type: none"> 軽量化

4

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（温水機器の例）

リモコン

視認性 文字の大きさ、色とコントラスト

超高齢社会を迎え、見やすさ・分かりやすさを追求し、すべての世代が安心して使えるユーザビリティを実現

薄暗い浴室の環境でもクッキリと見える有機ELを搭載

可読性の高い文字（9セグメント温度表示）を採用



5

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（温水機器の例）

リモコン

視認性 イラストによる表示



動作を文字とイラストで表現しわかりやすくしました

6

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（温水機器の例）

リモコン

視認性 **ボタンのサイズ・ボタンの配置**

浴室リモコン



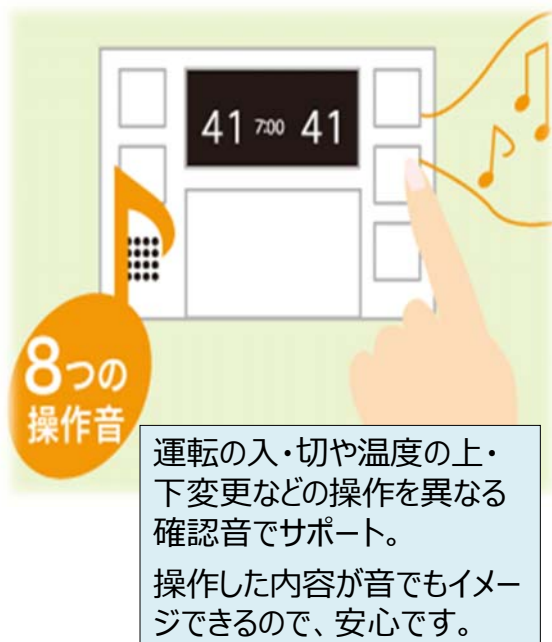
7

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（温水機器の例）

リモコン 操作音 お知らせ

操作を音でもイメージ



音声によるお知らせ

電源を切ります

電源が入りました

41℃までおいだきをします

給湯温度を41℃に設定しました



8

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（調理機器の例）

ガスコンロ

見やすい表示
色とコントラスト

分かりやすい配色とオ
レンジ色のLED

- ・コンロとグリルを色分け
- ・点火確認は見やすい
オレンジ色のLED



9

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（調理機器の例）

ガスコンロ

操作性 スイッチの配置

左コンロは

左のスイッチで操作



左操作部



よりやさしく使えるよう、使うコンロの
すぐ下にスイッチを配置

右コンロは右のスイッチで操作



右操作部

10

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（調理機器の例）

ビルトインガスコンロ

操作性 **操作部傾斜** **天面表示** **天面操作**



背丈に関係なく使いやすいよう、操作部は傾斜状に。
また、機能で色分けしたボタンや大きな文字など、ひと目で分かるデザインです。

11

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（調理機器の例）

音声ガイド

安全装置が作動して火が消えたときに、故障と勘違いしてしまうことがあります。

そういったことを防ぐため、音声でSiセンサーコンロの状況をお知らせします。音声は音量やしゃべる早さも調節することができます。



12

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（暖房機器の例）

石油暖房機

使いやすい操作部



操作部は、立ったままでも座っていても、無理なく操作ができる位置に設定しました。

また、操作ボタンは、運転入/切ボタンと温度設定（+）（-）なので分かりやすく、誰にでも簡単に操作ができます。



13

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（暖房機器の例）

石油暖房機

視認性 文字の大きさ 色とコントラスト

誰にでも見やすい、はっきりした白い大きな文字の大型蛍光表示管を採用



窓際の明るい太陽光の下でも暗い部屋でも、はっきり見える蛍光表示管を使った大きな文字表示で、離れた位置からも鮮明に設定や運転状態が確認できます。

さらに文字の大きさや表示の用語を工夫し、いっそう分かりやすくしました。

14

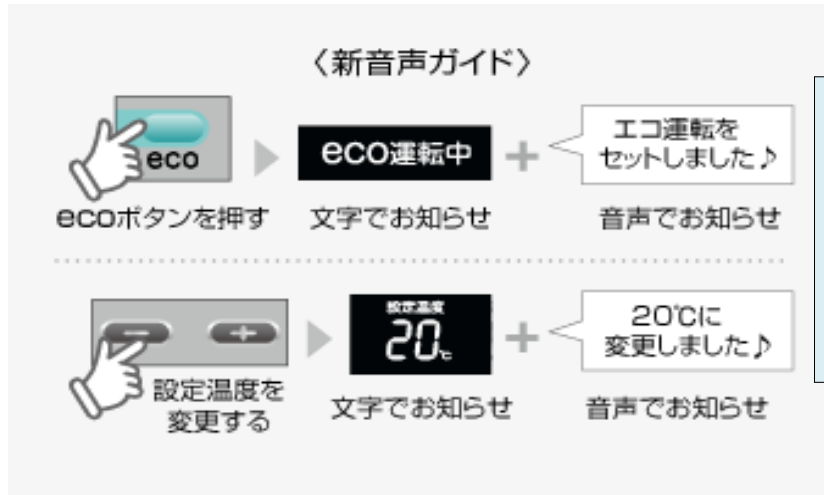
Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

配慮設計（暖房機器の例）

石油暖房機

音声ガイド

新音声ガイドと文字表示で運転状態がさらにわかりやすくなりました



ボタンの操作に対して、文字表示と音声で応答するので、操作の結果を目と耳で確認できます。

例えば、「eco」ボタンを押すと、「eco運転中」の文字が点灯し、同時に「エコ運転をセットしました」という音声でお知らせします。

「高齢者・障がい者配慮設計委員会」

今後の活動の方向性

- ・各社が商品に反映した配慮設計内容を会員会社に周知し、更なる取り組みを促す
- ・共用品推進機構、家電製品協会ほかの関係団体と連携してJIS、ガイドラインほかの情報収集を行い、会員会社への速やかな情報周を行う。
- ・ガス・石油機器が取組むべき新たな課題の検討と対応内容のガイドラインへの反映
- ・浴室、脱衣室でのヒートショックを防ぐ温水暖房の普及など、会員会社が連携して取組むべき課題を検討する。
- ・国際福祉機器展2019 出展